



6月23日(金)に、剣崎小学校3,4年生が、海探検の授業をおこないました。講師は、21日の旭小に続いて観音崎自然博物館学芸部長の山田和彦先生。様々な海の生き物のTシャツがトレードマークです。(ちなみに、この日は、トビウオのTシャツでした。)

場所は毘沙門付近の磯です。学校から歩いて毘沙門までたどり着きました。潮の具合が素晴らしく、途中の江奈湾の干潟も、大部分がその姿を見せていました。

磯に着くと、早速、海の生き物を発見。歓声が上がります。子どもたちは、江奈湾の観察の経験があるので、「あ、ミズクラゲだ」とか「アカクラゲは、気を付けないと毒を持ってるよ」など、しっかり知識を身に付けています。

磯の状態が素晴らしく、たくさんの種類の魚を見ることができて、子どもたちは大興奮です。ハゼの仲間だけでなく、カタクチイワシを捕まえる児童もいました、アオコゼという、毒を持った魚を捕まえてしまった児童は、山田先生の注意にビックリして、大騒ぎになりました。何か生き物を見つけると、山田先生を呼ぶので、山田先生は大忙しでした。短い時間の磯観察でしたが、子どもたちは大満足で、学校に戻りました。



6月29日(木)に、剣崎小学校5年生が、小網代湾で、アマモの授業と乗船体験をしました。これは、小パール隊の協力で行ったものです。

最初に、小パール隊の方から、アマモの大切さが説明されました。「アマモは海のゆりかご」という言葉が印象的でした。アマモの学習を通して、海の環境を大切にする気持ちを持ってもらいたい、ということを強調されていました。

その後、小パール隊の出口理事長の船で、小網代湾に出発しました。マダイの中間育成場では、稚魚にエサをやる場面を見せてもらいました。次に、真珠の養殖の様子を見学しました。実際に、アコヤガイが入っている籠を引き上げて見せてもらいました。最後に、小網代湾から外海に出て、浜諸磯から、黒崎、荒崎まで見渡せる場所まで行った後、小網代港に戻りました。船を降りる時、児童の一人が「あー、おもしろかった」と言ったのが印象に残りました。



**【お知らせ】** 三浦海業公社主催の「みうら・みさき海の駅フェスタ」で、昨年、本研究所でお招きした、川崎汽船の女性一等航海士、松野未沙さんが講演をされます。7月17日(月、海の日)の午後1時から、市民ホールで行われます。お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

(文責 事務局長 渋谷)

**海洋教育についてのお問い合わせは、本研究所まで (046-854-9443)**